

2 0 1 9 年 度

事 業 報 告 書

自 2019年 4 月 1 日
至 2020年 3 月31日

1. 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその実績の概要

清水港の2019年（1～12月）のコンテナ貨物取扱個数（内・外貿合計、実入り・空合計）は、前年比1.8%減の55万7400TEUでした。前年を下回ったのは5年ぶりです。19年のコンテナ貨物取扱個数のうち外貿は2.3%減の47万2096TEU。輸出が7.2%減の23万0797TEUと振るわなかったものの、輸入は2.7%増の24万1299TEUと増勢を維持しました。一方、内貿コンテナは1.5%増の8万5304TEUとプラスに転じました。移入は25.4%減の3万7908TEUと前年を割り込んだものの、移出が42.7%増の4万7396TEUと急増しました。

このような港勢の中、当協会の2019年度の経常収益は、前年比86.6%（12,633千円減）の81,400千円となりました。大きな減少要因は、施設整備補助金が前年比12,300千円減少の16,740千円となったためですが、各事業の概要は次の通りです。

- ①収益の基盤である港湾福利分担金は、取扱量の減少に伴い前年比96.2%（2,067千円減）の52,667千円となりました。
- ②・継続事業1のセンター運営事業は、会議室利用料収入等が前年比123千円減少の189千円。
・継続事業3の体育文化事業では、テニスコート利用収入が前年比46千円増加の807千円。
・継続事業4の小島港湾住宅賃貸事業では、入居率が改善し家賃収入が1,047千円増加の9,013千円となりました。年度末時点での空き室は、2DKが12室中2室、3DKは12室中1室となっています。
- ③その他事業では、日の出町駐車場事業において、利用率が大幅に改善し収入が前年比1,253千円増加の1,959千円となりました。年度末の利用状況は、収容台数33台のうち空は4台分です。

経常費用については、事業費が前年比88.8%（10,919千円減）の86,798千円となりました。主な減少科目は修繕費で前年比58.7%（13,945千円減）の19,828千円でした。この内、施設整備補助金で行った工事費が前年比13,520千円減の14,660千円、自前工事費は前年の5,593千円から425千円減の5,168千円となりました。増加科目は減価償却費と支払助成金となります。減価償却費は施設整備助成金で行った日の出町駐車場消火設備4台更新工事費用1,350千円を少額資産で一括処理したためです。支払助成金はシーパレスの利用者が373人増加し補助額が1,071千円増加したことによります。

なお、管理費は、全体で前年比634千円増加し9,475千円となりました。

以上から、経常収益合計の81,400千円から事業費と管理費を合わせた経常費用96,273千円を差し引いた当期経常増減は、△14,873千円（前年比2,348千円減少）となりました。償却前利益は、前年の260千円より1,627千円減少の△1,367千円となりました。

当協会におきましては、引き続き港湾福利厚生施設の整備充実に積極的に取り組み、福利厚生事業の推進を図ってまいります。

(単位：千円)

事業別経常収益		本年額	前年額	増減
実施事業	(継1)センターの運営等	204	321	-117
	(継2)養成・訓練の施設運営	0	0	0
	(継3)体育文化奨励事業	807	762	45
	(継4)小島港湾住宅	9,013	8,461	552
	実施事業 計	10,024	9,544	480
その他事業	日の出町駐車場の運営	1,959	706	1,253
	事業収益 計	11,983	10,250	1,733
法人会計(港湾福利分担金、利息等)		52,677	54,743	-2,066
施設整備補助金		16,740	29,040	-12,300
経常収益合計		81,400	94,033	-12,633

(2) 本年度と直近5事業年度の財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分	2019年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
経 常 収 益	81,400	94,033	72,357	66,936	64,788	65,875
当期経常増減額	△14,873	△12,525	△14,476	△12,196	△14,773	△13,322
正味財産期末残高	489,085	504,767	518,224	531,492	583,439	592,064

注1) 2019年度経常収益の施設整備補助金には、当年度施設整備補助額16,010千円と平成30年度以前に資産のため正味財産計上した施設整備補助金の一般正味財産への振替額730千円(減価償却額)を含む。

(3) 施設利用状況

①清水港湾労働者福祉センター（袖師センター）

区分		年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
食堂	人数		30,093	29,183	910	27,336	27,950
売店	人数		949	1,003	-54	646	1,144
理容室	人数		869	901	-32	871	866
会議室	回数		65	94	-29	122	96
	人数		1,084	1,593	-509	2,121	1,863
人数合計			32,995	32,680	315	30,974	31,823
稼働日			284	289	-5	290	290
◇（理容室）			270	278	-8	278	278

②清水港湾興津センター

区分		年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
食堂	人数		30,854	32,251	-1,397	33,038	32,778
売店	人数		3,958	4,802	-844	5,432	5,733
人数合計			34,812	37,053	-2,241	38,470	38,511
稼働日			284	289	-5	290	290

③小島港湾住宅

区分		年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
年平均入居率 (%)	3DK (12室)		75	69	6	67	67
	2DK (12室)		99	83	16	76	83
家賃収入 (千円)			9,013	7,965	1,048	7,645	7,872

④日の出町駐車場（最大収容台数：小型32台、軽1台）

区分	年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
年平均稼働率 (%)		80	32	48	59	58
賃貸収入 (千円)		1,959	706	1,253	1,191	1,164

⑤田子の浦港 富士埠頭休憩所

区分	年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
利用人数		1,153	1,515	-362	1,247	1,262

⑥田子の浦港 中央埠頭休憩所

区分 \ 年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
利用人数	1,392	1,740	- 348	1,788	1,563

⑦田子の浦 トレーニングルーム

区分 \ 年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
利用人数	1,912	1,920	- 8	1,928	1,928

⑧馬走テニスコート

区分 \ 年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
利用人数	3,675	3,359	316	3,407	3,313

⑨シーパレス・リゾート

区分 \ 年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
利用人数	3,379	3,006	373	3,012	2,648
助成金額 (円)	8,947,500	7,876,500	1,071,000	7,897,500	6,973,500

⑩築地センター (訓練用揚貨装置)

区分 \ 年度	2019年度	平成30年度	前年度比較	平成29年度	平成28年度
延利用人数	19	20	- 1	21	28
稼働日数	7	6	1	8	9

(4) 施設整備

2019年度実施の主な施設整備の状況は以下の通りです。

(単位：円)

施設名	工事及び整備の内容	金額	備考
清水港湾労働者 福祉センター	★屋上防水工事	12,960,000	修繕費
	受電設備改修工事	572,000	〃
	トップライト3個交換	286,200	〃
	玄関自動ドア補修等	686,650	〃
	小計	14,504,850	
清水港湾興津センター	西出入口庇修繕	440,000	修繕費
	冷凍庫コンプレッサー交換	197,208	〃
	食堂給湯器修繕等	432,932	〃
	小計	1,070,140	
小島港湾住宅	★浄化槽改修工事	1,700,000	修繕費
	204号他2室原状回復	2,026,600	〃
	高木伐採強剪定他	332,890	〃
	小計	4,059,490	
馬走テニスコート	緑地改修工事他	545,980	修繕費
築地センター	空調設備修繕他	162,000	修繕費
日の出町立体駐車場	★粉末消火設備4台更新	1,350,000	少額減価償却資産
	フェンス改修工事他	101,200	修繕費
	小計	1,451,200	
中央埠頭休憩所	空調設備修繕	151,200	修繕費
合計		21,944,860	

★日港福/施設整備助成金工事

(5) 文化体育奨励行事

本年度も事業者が実施する文化体育行事に対して助成を行い、あわせて当協会の契約保養施設ホテルシーパレスリゾートの利用促進を継続的に実施しました。シーパレス利用時の助成額は総額で前年比1,071,000円増加の8,947,500円となりました。主な助成行事は次の通りです。

2019年4月～ 2020年3月	シーパレス・リゾートを利用した会員事業者の従業員及び家族は宿泊料が半額、加えて当協会にて一人当たり3,000円(子供1,500円)の補助を行った (延利用者数：3,379人/前年比373人増)
2019年6月16日	清水港湾釣り大会 (参加者：約100人)
2019年7月20日	清水港内納涼船 (参加者：190人)
2019年10月27日	清水港湾祭(家族運動会) (参加者：約445人)
2020年2月2、9日	田子の浦港湾ボーリング大会 (参加者：199人)
2020年2月16日	清水港湾ボーリング大会 (参加者：150人)

(6) 役員会等に関する事項

①清水港湾福利厚生協会・理事会

開催年月日	議事事項
2019年5月20日	①平成30年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)の件 ②平成30年度公益目的支出計画実施報告書(案)の件 ③第53回定時評議員会招集の件
2019年10月10日	書面による決議 ①理事の辞任及び選任のための評議員会開催決定の件
2019年11月14日	①2019年度上期事業報告について ②2020年度の日港福への施設整備助成希望事業について
2020年3月23日	書面による決議 ①2020年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の件

②清水港湾福利厚生協会・評議員会

開催年月日	議事事項
2019年6月18日	①平成30年度事業報告書及び公益目的支出計画実施報告書の件 ②平成30年度決算書(案)の件 ③理事2名及び監事1名辞任につき後任理事2名及び 後任監事1名選任の件 ④評議員2名辞任につき後任評議員2名選任の件
2019年10月23日	書面による決議 ①理事1名選任の件
2019年12月3日	書面による決議 ①評議員1名選任の件

③日本港湾福利厚生協会主催会議

開催年月日	会議名	議事事項
2019年5月8日	第1回理事会	①2018年度事業報告(案)並びに2018年度収支決算(案)及び公益目的支出計画実施報告書(案)の件 ②会員入会の件 ③第57回定時総会招集の件
2019年6月12日	第57回定時総会	①2018年度事業報告並びに2018年度収支決算(案)及び公益目的支出計画実施報告書の件 ②2019年度事業計画及び2019年度収支予算の件 ③役員任期満了につき改選の件
2020年3月11日	第3回理事会	①2019年度事業報告(案)の件 ②2020年度事業計画(案)及び2020年度収支予算(案)の件 ③会員入会の件

④日港福及び全国専務理事会等主催会議

開催年月日	会議名	議事事項
2019年7月3日	全国専務理事会 総会 全国専務理事会主催	①役員改選結果報告 ②平成30年度全国専務理事会 事業報告・決算報告 ③各地区協会決算報告等
2019年9月19日	10港専務理事会 神戸協会主催	①現状と課題 ②福利厚生協会の在り方
2019年10月10日	全国専務理事会議 日港福主催	①シーパレスの現状と利用促進について ②当面の諸問題について ③2020年度施設整備事業助成について ④特別講話「港湾局の最近の取組について」 国土交通省港湾局 牧田課長補佐様
2019年11月7日	全国事務局会議 日港福主催	①日港福の現況と課題 ②各港湾福利厚生協会の現況及び課題について ③シーパレスの現状と利用促進について

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	西尾 忠久	非常勤	鈴与株式会社 代表取締役副社長
専務理事	櫻井 勇	常勤	
理事	山田 英夫	非常勤	株式会社天野回漕店 代表取締役社長
理事	佐々木 健	非常勤	清和海運株式会社 取締役総務部長
理事	杉山 行由	非常勤	田子の浦埠頭株式会社 取締役管理事業部長 兼 企画調査室長
理事	若林 淳	非常勤	鈴与株式会社 勤労部長
理事	小野辰一郎	非常勤	一般社団法人日本海事検定協会清水第二事業所 事業所長
理事	松尾 隆	非常勤	一般財団法人新日本検定協会清水事業所 所長
理事	田村 純	非常勤	一般社団法人全日検名古屋支部清水現業所 所長
理事	福間 邦彦	非常勤	一般社団法人日本貨物検数協会清水事務所 所長
理事	竹内 栄広	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 書記長
理事	篠原みちる	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方田子の浦支部 副委員長

(2) 監事

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
監事	柳川 明	非常勤	鈴与株式会社 常務取締役
監事	宮原 弘樹	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 副執行委員長

(3) 評議員

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
評議員	鈴木健一郎	非常勤	鈴与株式会社 代表取締役社長
評議員	村岡 一男	非常勤	鈴与株式会社 常務取締役
評議員	遠藤 修	非常勤	アオキトランス株式会社 代表取締役社長
評議員	小泉 明弘	非常勤	田子の浦埠頭株式会社 常務取締役
評議員	八木 敏明	非常勤	新興港運株式会社 常務取締役
評議員	松瀬宇太郎	非常勤	清水埠頭株式会社 常務取締役
評議員	鈴木 勝也	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 執行委員長
評議員	千頭和達也	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方田子の浦支部 執行委員長

(4) 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任事由
黒澤 一正	理事	令和1年10月23日	一身上の都合により辞任
鈴木 與平	評議員	令和1年12月5日	一身上の都合により辞任
遠藤 修	評議員	令和2年3月25日	一身上の都合により辞任

事業報告に関する附属明細書

◇港湾福利分担金実績について

港湾利用者と元請港運事業者より拠出される分担金トン当たり5円は、「3円を第1次分担金とし、地区協会に交付する。用途は運営費50%、施設整備50%とし、変更する場合は、日港福に報告し承認を得る。2円は第2次分担金として中央事業費とし、日港福に独自事業がない場合、1円50銭分を地区協会の施設整備に第2次交付金として交付する。」となっている。

港湾福利分担金交付額実績一覧表

各年度、1月から12月までの作業分が、3ヵ月遅れの4月から3月に交付される。

(単位：円)

年度	区分	1次分担金 (地方分担金)	2次分担金 (中央分担金)	合計金額	指 数
平成17年度		63,289,033	42,192,688	105,481,721	100
平成18年度		64,766,796	43,177,864	107,944,660	102
平成19年度		64,083,112	42,722,074	106,805,186	101
平成20年度		59,250,008	39,500,005	98,750,013	94
平成21年度		43,743,310	29,162,207	72,905,517	69
平成22年度		43,319,586	28,879,724	72,199,310	68
平成23年度		42,003,202	27,986,137	69,989,339	66
平成24年度		41,502,176	27,641,389	69,143,565	66
平成25年度		40,429,719	26,953,146	67,382,865	64
平成26年度		47,527,993	31,685,328	79,213,321	75
平成27年度		50,258,663	33,505,775	83,764,438	79
平成28年度		50,893,030	33,928,686	84,821,716	80
平成29年度		52,859,356	35,239,570	88,098,926	84
平成30年度		54,734,066	36,489,377	91,223,443	86
2019年度		52,666,872	35,111,248	87,778,120	83

注1：平成20年9月15日に米国のリーマンブラザーズ経営破綻

注2：平成22年4月作業分（7月入金）より平成26年5月作業分（8月入金）まで事業者拠出1円が凍結

注3：平成24年度は福利厚生事業支援金5,240,000円が交付された（分担金には含まれない）

注4：平成25年度にも福利厚生事業支援金10,520,000円が交付された（　　）

注5：凍結されていた事業者拠出1円が、平成26年6月作業分より解除（同年9月より交付）